REVER

https://www.re-ver.co.jp/

REVER

CORPORATE PROFILE

リバーグループ会社案内

TRE HOLDINGS

https://tre-hd.co.jp/

東証プライム上場 TOKYO STOCK EXCHANGE LISTED JPX PRIME TOKYO

ミックス
責任ある木質資源を使用した紙
FSC® C022794
www.fsc.org

VEGETABLE OIL INK

ENERGY GREEN
この会社案内は、風力で発電されたグリーン電力にて刷版を出力、印刷されています。
※当冊子の刷版出力に必要な電力量を1.8kWh、3,500部を印刷するのに必要な電力量を107kWhと計算しています

202609

Vision

地球を
資源だらけの星にしよう。

すべてのゴミは資源にできる。私たちはそう信じています。

資源は争いを起こし、豊かさは大量のゴミを生み出しました。

資源はいつか尽きる。それがこれまでの常識。

でもゴミを資源に生まれ変わらせる技術は、もうそこまできています。

いや、私たちがそれを必ず実現する。

リサイクルをあきらめない。捨てるを資源のはじまりに。

地球は、やがて資源だらけの、ゴミと資源の境目のない星になる。

私たちは、リバーグループです。

Mission

すべてを資源にできる技を磨く。

この世から、ゴミという言葉はなくなります。
ゴミはまた再び資源になる。それが当たり前の星にする。
そのために、私たち一人ひとりが技を磨く。
その技を合わせると、新しい地球が、新しい世界が、
新しいビジネスが生まれていくはず。
ゴミを愛そう。生まれ変われないゴミをなくそう。

Value

100年の歴史で、リサイクルの未来をつくります。 資源化100年の歴史。その信用、信頼を土台に次の100年をつくります。

同じ未来をみる仲間と新しい世界をつくります。 業種の枠を超えて、全産業と連携し、高度循環型社会を実現します。

廃棄物を、地球を支えるエネルギーに変えます。 すべての廃棄物を地球上の資源に変え、社会のインフラにします。

地域や自然と共存している美しい工場になります。 子どもから大人まで世界中から訪れる工場へ。胸を張れる美しさを保ちます。

どんな人材も、輝かせます。 社員一人ひとりが自ら学べる企業へ。たくさんの活躍社員を育てます。

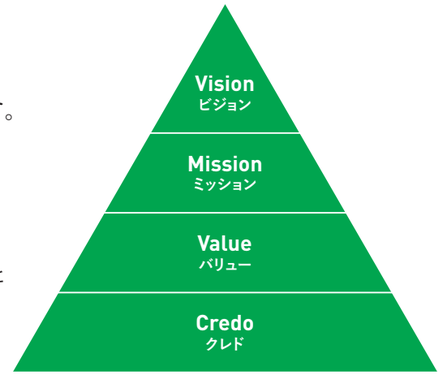
Philosophy

リバーグループの企業理念

循環型社会を支えるかけがえのない存在であるために
必要な考え方や行動の原点。
それを私たちリバーグループは「企業理念」と呼んでいます。
企業理念は、次の4つの要素から構成されます。

Vision（ビジョン）――目　指す未来
Mission（ミッション）――ビジョンを叶えるために私たちがすべきこと
Value（バリュー）――私たちが社会に提供する価値
Credo（クレド）――私たちが大切にする行動指針

【REVERの理念】



Greeting

あらゆる排出物が再生利用される、持続可能な社会へ

気候変動や資源をはじめとする環境課題、
食糧や医療など健康や生命に関わる課題、
すべての人が尊重され、将来の希望が持てる社会の実現という課題、
これらの課題の解決なくして、持続可能な社会の実現はありません。
そのため、企業は経済活動のみならず、社会・環境面での課題解決に
より積極的に取り組んでいくことが求められています。

事業活動がそのまま社会環境の改善に直結するリバーが目指す社会とは、
あらゆる排出物が再生利用される世界、すなわち持続可能な社会。
そして、そのために不可欠なのが、静脈産業の発展です。
資源を使ってものづくりをする「動脈産業」のアウトプットを、
「静脈産業」が再資源化するだけの機能を持ち、
創出の「動脈」と回収の「静脈」が連携することが必要とされています。

もちろん、リバーの力だけで日本の環境課題を
解決できるわけではありません。
けれど、リバーはこうした社会の実現を目指し、
先駆者として挑戦していくことを宣言したいと思います。

リバーは、120年にわたり培ってきた
リサイクル技術やネットワークで環境課題を解決し、
持続可能な社会へ向けて歩みを加速していきます。
そして、持続可能な地球環境や社会の実現に貢献することで、
自らも成長し続ける企業でありたいと考えています。

リバー株式会社
代表取締役社長執行役員
松岡直人

リバーグループのネットワークを通じて どの地域でも、高品質のリサイクルサービスを提供

1

［リバーグループの強み—1］

多様化する製品の リサイクル・廃棄物処理に対応

建物解体や使用済自動車、不要になった家電やOA機器など、
多様な処理ニーズに得意分野の異なるリバーグループの総合力で対応します。
高度化するOA機器や産業機械の処理実績も多数。
社会的責任を問われる現代の企業を強力にサポートします。

産業廃棄物 取扱い品目

2

［リバーグループの強み—2］

広域のサービスネットワーク

リバーグループは、18の事業拠点を配しています。
また、日本全国のリサイクラーとのネットワークを何重にも広げ
地域を越えた広域のご依頼にも対応します。

3

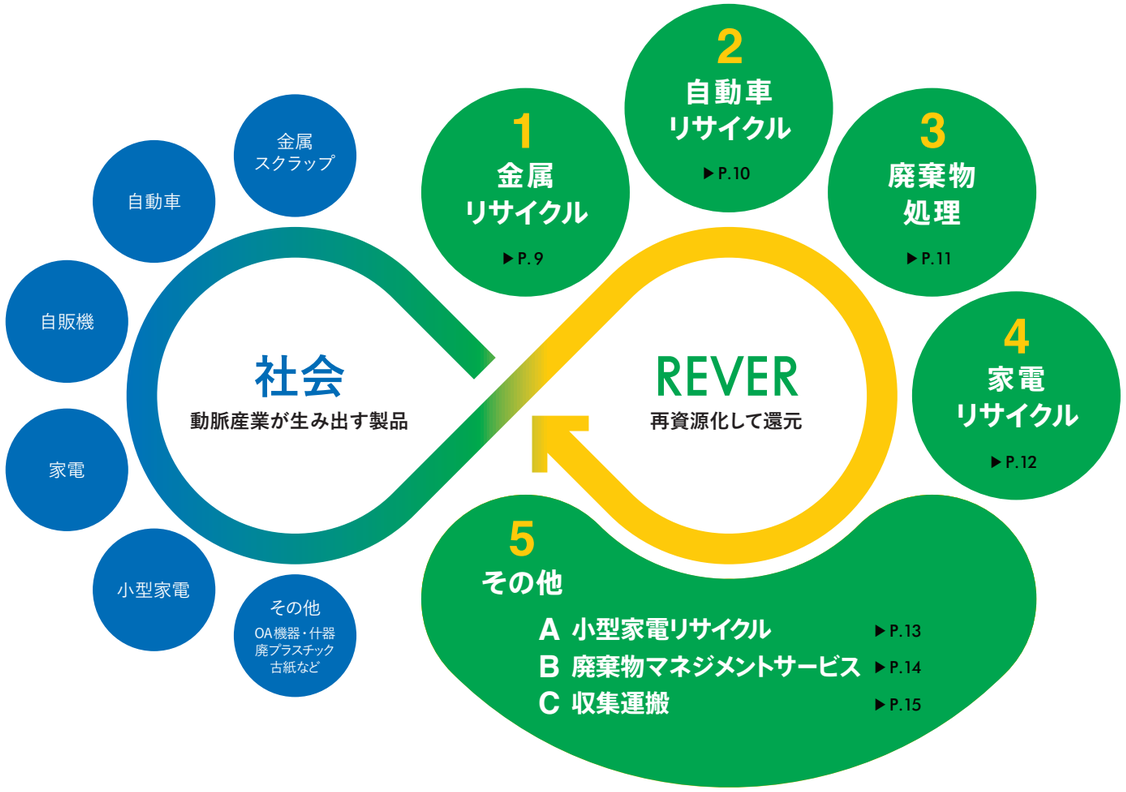
［リバーグループの強み—3］

安心と信頼の継続取引

動脈産業から出される排出物の量や質は、常に変化しています。
私たちはグループの強みを最大限に活用し、
「多品種」「大量」「広域」など
小規模な処理事業者では困難なボリュームに対しても
迅速・確実に処理いたします。
お取引企業様との高い継続率は安心と信頼の証です。

リバーグループの事業

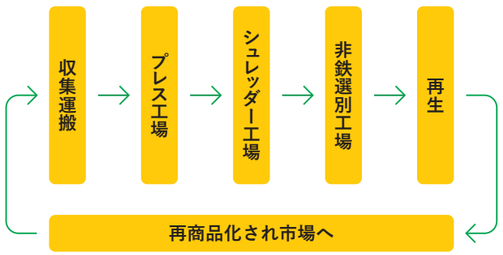
動脈産業から排出される廃棄物を再資源化へと導く、
リバーグループの5つの主力事業をご紹介します。



高度な選別技術が可能にする
高いリサイクル率と品質

金属リサイクルは、工場・建物の解体や、使用済自動車、廃家電製品などから排出される鉄、アルミニウム、ステンレス、銅などの鉄・非鉄金属スクラップを扱うリバーグループの主力事業です。
特に鉄スクラップは製鋼原料として、国内メーカーのみならず、アジアを中心とした各国に輸出し、リサイクル原料として幅広く利用されています。グループのネットワークを生かし、広域展開する企業からの大量の引き取り依頼にもスムーズに対応。きめ細かいサービスをご提供します。

【受け入れからリサイクルまでの流れ】



PICK UP！［リバー（株）川島事業所］

最新設備と高度選別技術で、高品質な再生資源を生み出す

リバー（株）川島事業所では、大型シュレッダー設備による年間最大6万トンの安定した破砕処理能力を備え、鉄スクラップや使用済自動車などを効率的に処理しています。選別工程では、従来の磁力選別に加え、銅材自動選別装置「PDM（※）」を導入。銅材の選別を自動化し、省人化と選別精度の向上を実現しています。

回収したシュレッダーダストやミックスメタルは壬生事業所・那須事業所で高度選別により再資源化し、徹底した資源回収につなげています。

※Polishing Drum Magnet｜ポリッシング磁気ドラム
家電や自動車などのモーターコアに含まれる銅材の選別に必要な手選別の工数を大幅に削減する機械

2 自動車リサイクル

3 廃棄物処理

リバーなら引き取りから販売まで ワンストップで

リバー(株)では、自動車リサイクル法で定められた「引取業」「フロン回収業」「解体業」「破砕業」のすべての登録・許可を取得し、使用済自動車の処理を、引き取りから解体・破砕までワンストップで行っています。
タイヤ、バッテリー、エンジンなどのパーツはもちろん、エンジンオイルなどの油脂、ハーネス(配線)まで、再利用できるものは徹底的に回収して再資源化します。
解体後に残ったボディは、シュレッダーで破砕して鉄鋼メーカーや非鉄メーカーへ。建築用鋼材や、二次合金地金となって新たな資源に生まれ変わります。

【受け入れからリサイクルまでの流れ】

PICK UP！ ［リバー（株） ELV川島事業所、ELV柏事業所］

自動車パーツをリサイクル。良品はネット販売も

リバー（株）では、車両の解体時に使用可能なパーツを取り外し、一つひとつ丁寧に検収して洗浄。中古タイヤ、中古ホイールなどアイテム別に管理し、国内の整備工場や海外市場に販売するほか、店頭やインターネットで一般販売しています。

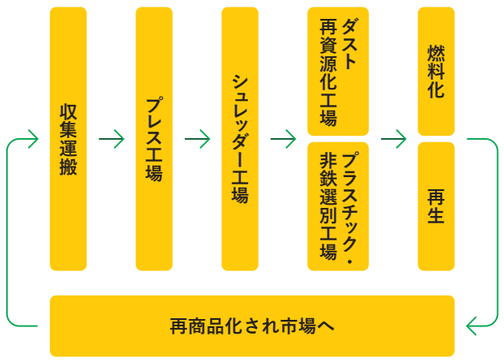
煩雑な管理をスムーズに行い 企業の信用力を守る

産業廃棄物は取り扱う品目が多岐にわたり、処理の多様化・高度化が進んでいます。グループ各社は、長年蓄積してきたノウハウと設備で、適切に処理しながら、資源物の再利用を図っています。

排出物の一例

OA機器、自動販売機、オフィス什器、店舗什器、遊戯機

【受け入れからリサイクルまでの流れ】



各自治体の許認可を得た事業者が対応

廃棄物の処理は、各都道府県・政令指定都市の廃棄物処理業の許可を得た事業者が行わなければなりません。リバーグループは広域ネットワークにより、自治体をまたぐ処理にスムーズに対応します。

産業廃棄物管理票（マニフェスト）の管理がスムーズ

廃棄物処理は、輸送も処分も必ず当事者間で契約を結び、マニフェストに基づいて進める必要があり、膨大な書類の管理が発生します。リバーグループでは、煩雑なマニフェスト管理をIT化し、企業の負担を最小化しています。

機密書類処理も安心

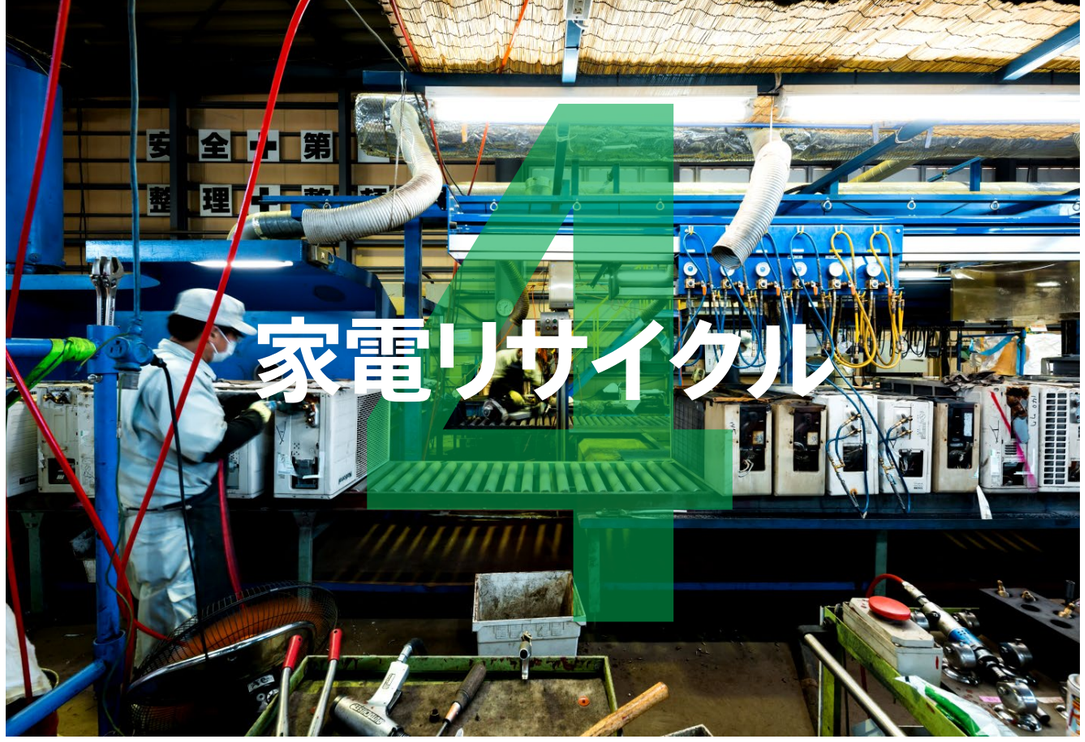
機密性の保持が必要な機密書類はISO/IEC27001（情報セキュリティマネジメントシステム）を取得したリバー（株）東松山事業所にお任せください。情報流出を防ぎ、リスクマネジメントと作業効率の向上に貢献します。

お客様の信頼とブランド価値を守る

廃棄物処理には、不法投棄や不適正処理など多くのリスクが潜んでいます。環境意識の高まりから排出事業者責任は年々厳しさを増しており、信頼できる処理事業者選びは、いまや企業の重要なリスクマネジメントです。安心の優良産業廃棄物処理業者を揃えるリバーグループが、お客様の信頼とブランド価値を守ります。

廃棄物処理法の排出事業者に対する罰則（抜粋）

産業廃棄物収集運搬の許可を持つ業者に、産業廃棄物の運搬の都度、マニフェストを交付しなかった場合、罰則となる。

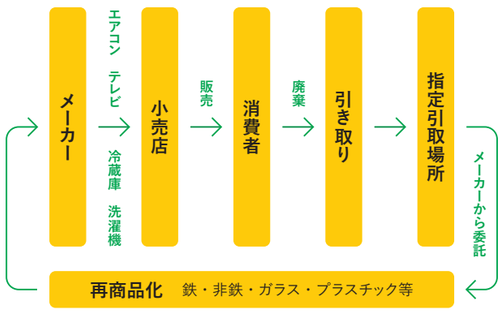


4 家電リサイクル

家電リサイクルに先駆的に取り組んだ技術力と実績

「エアコン」「テレビ」「冷蔵庫」「洗濯機」の4品目は、「特定家庭用機器再商品化法（家電リサイクル法）」に従って認定業者が受け入れ、リサイクル処理を行わなければなりません。リバーグループは、家電リサイクル法が施行された2001年以前から、大手家電メーカーとリサイクル技術に関する共同研究を行い、リサイクル法の成立に貢献してまいりました。
法律の施行後も、ブラウン管から薄型テレビへの移行や、ドラム式洗濯機への移行など時代とともに進化する家電に対応してリサイクル技術を高めてきた実績から、現在も大手メーカーより処理を受託しています。

【家電リサイクルの流れ】



PICK UP！ ［リバー（株）市原事業所］

日本有数の施設を誇る家電リサイクルの拠点

2001年の家電リサイクル法成立時に、指定引取場所・商品化施設の認定を受け、家電リサイクル受託業務をスタート。家電4品目すべてのリサイクルが行える、リバーグループの主要拠点です。

大規模な保管場所を備え、季節的に入庫量の変動が大きいエアコンや冷蔵庫、地デジ化に伴うブラウン管テレビの大量入荷にも対応してきました。

5 その他 A 小型家電リサイクル

都市鉱山に眠る有用資源を掘り起こす

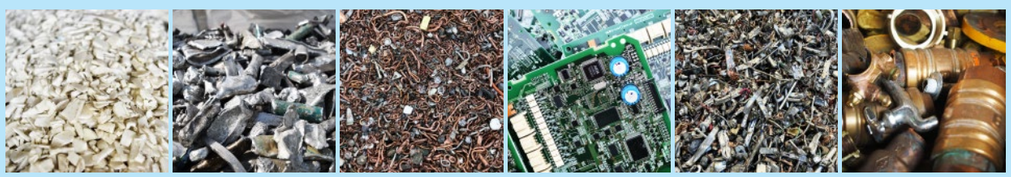
リバー（株）では、小型家電リサイクル認定事業者（大臣認定 第0061号）として国から認定を受け、市区町村経由、または市民から直接回収した小型家電のリサイクルを行っています。日本国内で資源循環を行い、法律に定める28カテゴリーに該当する小型家電を受け入れます。グループ内外の技術を活用して、破砕、選別（磁力、風力、比重等）、手選別など高度な処理を行い、多くの有用資源を回収しています。
グループ外のリサイクル企業にもご参加いただいて、安定的な地産地消型のリサイクルを推進しています。

E-Waste
小型家電
大臣認定 第 0061 号
リバー株式会社
認定事業者 ロゴマーク

PICK UP！

小型家電からリサイクルプロセスを経て資源化した素材例

※リサイクルプロセスはP16をご覧ください



プラスチック　アルミニウム　金銀銅滓　基板　ミックスメタル　真鍮

その他
B 廃棄物マネジメントサービス

廃棄物処理の多様なニーズを この窓口ですべて解決

リバーグループは、すべての企業の事業活動から発生する多様な廃棄物の処理を、収集から最終処分に至るまで、ご要望に応じてコーディネートするサービスを提供しています。

廃棄物の種類や地域は問いません

「鉄」「非鉄」「産業廃棄物」といった排出物の種類を問わず、広域で運用したいといった個別の事情にも、グループのネットワークを活用して対応いたします。また、リバーグループだけではカバーしきれない地域や特殊な廃棄物であっても、北は北海道から南は沖縄まで、これまで培ってきたネットワークを活用し、全国各地の信頼できる処理事業者をご紹介します。

企業様の管理の手間が省けます

産業廃棄物の管理は法的要件を満たすための煩雑な業務が多く、いかに産廃業者がその管理を適正に行えるかが大変重要です。産廃業者の窓口業務をリバーグループに一元化することで、お客様の負担とリスクを最小限に抑えることができます。下記管理業務もお任せください。

許可証確認	委託契約書締結	見積り
日程調整	紙・電子 マニフェスト管理	精算業務

【ご相談の流れ】

［ヒアリング］ 廃棄物の種類・性状・排出量や処理状況など、お客様の抱える課題やご要望をヒアリング

↓

［ご提案］ お客様に合った産廃処理をご提案

↓

［見学］ ご希望に応じて産廃処分施設や再資源化施設の見学要請にも対応

↓

［契約］ 産廃物を処理するために必要な委託契約（収集運搬・処分）を締結

↓

［引き取り］ 引き取り日程の調整や、マニフェストの準備も、当社がバックアップ

25tトレーラー：イツモ（株）最大の積載量で、10mを超える長い荷物も積載可能

その他
C 収集運搬

グループの運送会社が多様な廃棄物を 安全・確実に運ぶ

廃棄物は、その形状や性状によって運搬できる車両が異なったり、排出元・運搬先それぞれの自治体の収集運搬許可が必要となるなど、高い専門性が求められます。
リバーグループでは、グループ各社が個別に持つ輸送車だけでなく、グループの物流を専門に担当する運送会社イツモ（株）が常時稼働。各種最新型車両と経験豊富なドライバーが、企業様からのさまざまな依頼に対し、迅速・適正な運搬サービスを提供しています。

リバー水準の安心・安全をお約束

リバーグループは法令遵守への取り組みを強化しており、グループの一員であるイツモ（株）も、全社共通の厳しい遵法監査を受けています。不法投棄などの不安を抱きがちな廃棄物の運搬も、リバーグループなら安心です。

15t ダンプ車
ダンプアップすることにより、シュレッダーダスト等の荷下ろしがスムーズ。

15t 平ボディ車
荷台の側面が開閉するため、フォークリフト等による積下ろしが可能。

8t ヒアブ車
グラップル付きクレーンにより他車や自車への荷物の積込みが可能。

PICK UP !

事故防止への積極的な取り組み

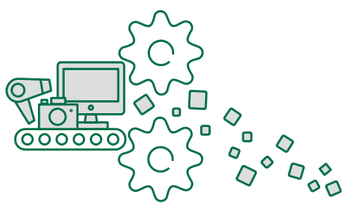
グループの物流を担うイツモ（株）では、事故防止への取り組みとして、保有する全車両に録画機能を搭載したデジタルタコグラフを導入しています。GPSによるリアルタイムでの運行状況の確認、車両の速度、走行時間、走行距離等の記録や、録画データの解析等により、安心安全な物流を提供できるよう努めています。また、これらの記録を活用し、ドライバーの安全運転指導や、急発進・急加速の抑制、アイドリングストップの励行等、エコ運転の推進に取り組んでいます。他にも、ドライバーの運転時間や休憩状況の記録により、適正な休憩をとれているか等の労働状況の確認をしています。安全運転と適正な労働状況の把握の観点から事故防止につなげています。

産業廃棄物・金属・小型家電リサイクルプロセス

磁力選別、比重選別、選り分け作業などを徹底することにより、さまざまな廃棄物のリサイクルを実現しています。

前処理

プレシュレッダー



使用済自動車や廃家電などをある程度の大きさに破砕します。次の工程のシュレッダーを効率よく、安全に稼動させるための前処理機械です。

破砕処理

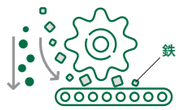
シュレッダー

鉄・非鉄金属・プラスチックなどが多く含まれたものを加工し、「鉄」「非鉄金属」「シュレッダーダスト」に分別します。「非鉄金属」はさらに銅・アルミニウムなどに分別し、リサイクルします。「シュレッダーダスト」はダスト再資源化工場で再選別して有価物を取り出したり、RPF燃料の製造を行います。資源化できないものは最終処分場で埋立処分やサーマルリサイクルされます。

選別処理

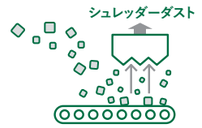
選別機

磁力選別



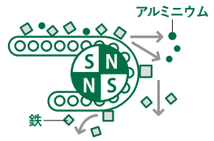
磁力を使い破砕後物から鉄を回収します。

風力選別



風の力でダスト（プラスチック・ガラスなどの混合品）を吸引します。

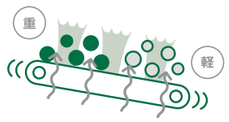
渦電流選別



磁力の磁界で発生する渦電流の違いを利用して、鉄とアルミニウムや銅などの非鉄金属を選別します。

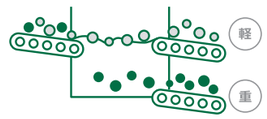
比重選別

乾式比重選別



下から風を当てて軽いものを飛ばし、次に振動により軽いものは下方に落とし、重いものは逆に上方に運びます。

湿式比重選別



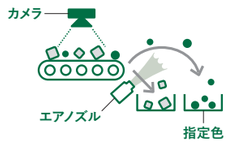
液体による浮き沈みで重さの違う物質を選別します。液体の比重を変えることで、選別できるものが変わります。

選り分け作業

金属選別

磁石につかない金属をセンサーで検出し、エアノズルからの風で飛ばして回収します。

色選別

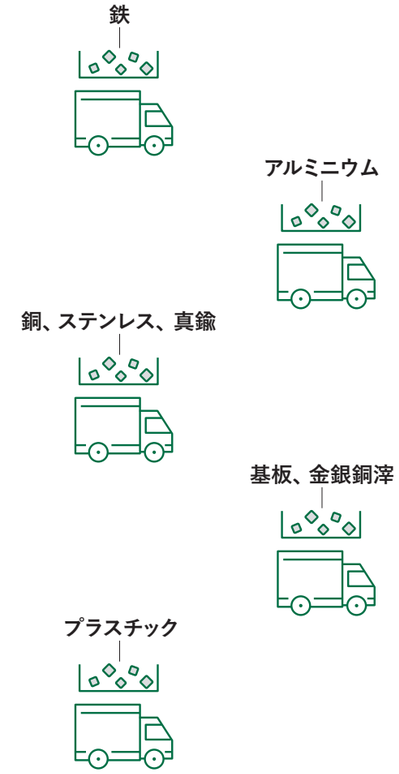


破砕後物を色彩センサーで色や形状により判定し、エアノズルからの風で飛ばして回収します。

手選別

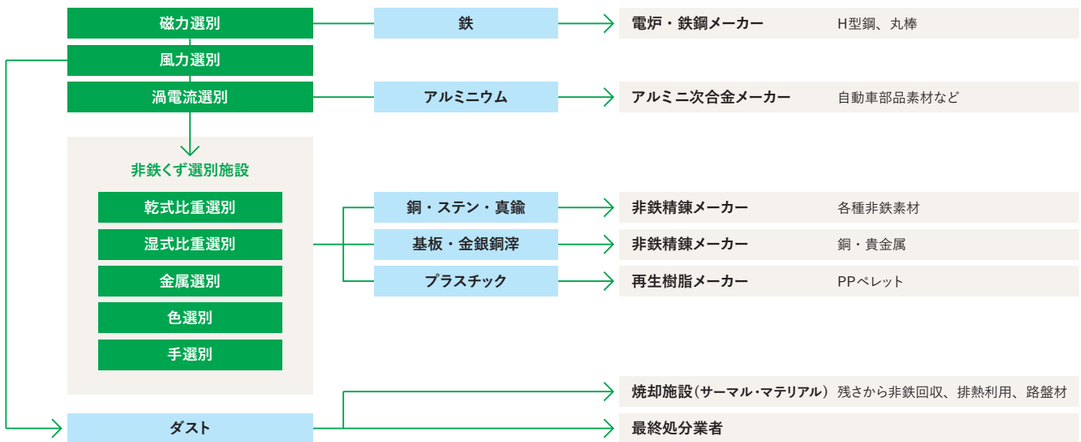
機械で判別できないものを人の目で判断して選別します。

再資源化



選別品の品目と納品先

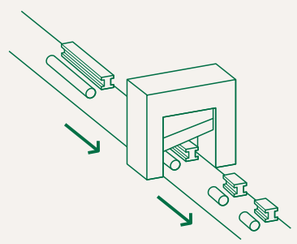
選別技術の強化により、高いリサイクル率を実現しています。



特殊加工

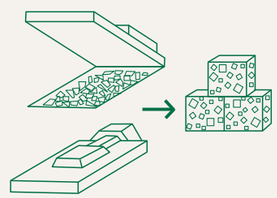
厚みや長さ、空間のあるものは、専用の機械で加工します。

シャーリング加工（油圧シャー）



油圧シャーと呼ばれる機械で、鉄筋・鉄骨・鋼管など、厚みや長さがある鉄スクラップを一定の長さに切断する加工方法です。材料を押さえて、切断（せん断）します。

プレス加工

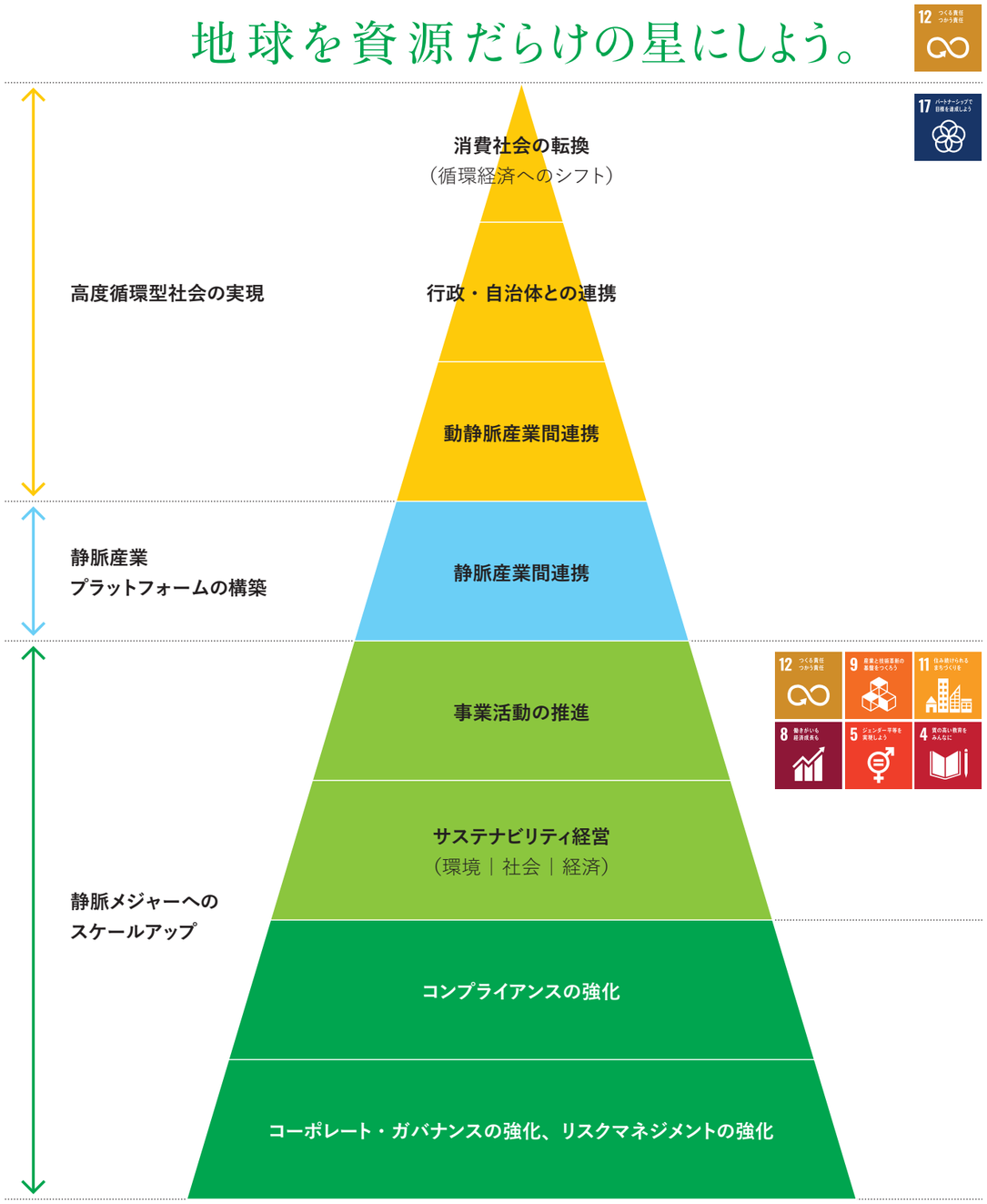


小さなものから、大きなものまで、金属廃棄物を圧縮して成型・減容する加工方法です。1方向、あるいは2方向から強い力で圧縮して箱形に成型します。

※各設備の設置拠点はP26-27の事業所一覧をご参照ください

リバーグループのサステナビリティ経営

「地球を資源だらけの星にしよう。」というビジョンを実現するにはリバーグループの組織能力の強化のみならず、
静脈産業間連携や動脈産業、行政・自治体、消費社会との連携が不可欠です。
リバーグループでは、中長期的な視点に立ち、優先順位を定めながらサステナビリティ経営の強化を推進しています。



リバーグループが定める「SDGs優先課題」

リバーグループでは、「SDGs優先課題」を選定し、サステナビリティ経営の強化に努めています。具体的には「高度循環型社会」の実現を最重要テーマと位置付け、「静脈産業プラットフォームの構築」「持続可能な製品ライフサイクルの確立」「従業員の安全・安心と豊かさの確保・創出」を優先課題として選定しました。

SDGsの17目標169ターゲットから事業活動との関連性の深い、以下を重要項目に定め、KPI（Key Performance Indicator）を策定し、その達成に向けた行動計画に基づく活動を推進しています。
なお、この「SDGs優先課題」の選定にあたっては、SDGsの企業行動指針である「SDGsコンパス」の定めるステップを踏まえました。

「高度循環型社会」の実現

12-5　廃棄物の発生を減らす
事業活動を通じた廃棄物の削減および再生利用・再利用の拡大

「静脈産業プラットフォーム」の構築

17-17　廃棄物処理・リサイクルインフラ構築に向けた連携
企業間連携、官民連携、市民社会との連携などの
パートナーシップの強化

従業員へのアプローチ

「安全・安心」と「豊かさ」の確保・創出

8-8　労働安全衛生の確保
労働者の権利を保護した
安全・安心に働ける労働環境の
確保

5-1　職場におけるジェンダー平等の確保
5-4　多様性を受容した働き方の尊重と制度整備
5-5　労働におけるジェンダー平等の実現

4-4　すべての従業員の成長支援
スキルの習得・習熟を図る
教育体系の整備

4-5　障がい者の自立支援
障がい者雇用の促進と
労働環境の整備

事業を通じたアプローチ

「持続可能な製品ライフサイクル」の確立

12-4　化学物質・廃棄物の適正管理
廃棄物処理時の管理徹底による
化学物質の放出防止

9-4　環境配慮技術の導入・拡大
リサイクル技術の向上と
その普及拡大を通じた
高度循環型社会づくりへの貢献

11-6　都市環境への悪影響の抑制
廃棄物の適切な管理を通じた
廃棄物の主たる発生地である
都市部における環境改善への
貢献

社会とともに、地域とともに、従業員とともに

事業の継続には地域社会をはじめ、さまざまなステークホルダーの理解と信頼が欠かせません。
リバーグループは、リサイクラーという事業特性を生かした活動を通じ、社会とともに、地域とともに、
なにより従業員自身が喜びを感じながら成長を続ける企業を目指しています。

社会とともに

環境保全活動によって環境負荷の低減へ

環境ISO14001取得

日々の事業活動がそのまま環境保全につながる当社グループでは、ISO14001に適合した環境社会マネジメントシステム（EMS）を導入し、環境保全に寄与しています。
※ 関連会社は除く

QUALITY ASSURANCE JC REGISTERED ORGANIZATION No.E1928-ISO 14001

環境に配慮した設備の導入

グループ各社の拠点に環境に配慮した設備を配備して、環境負荷の低減を図っています。

写真は集塵装置。他に排水処理施設、放射能探知機、フロン回収機などがある

従業員とともに

安全で働きやすい職場環境づくりを

事故報告システム

情報を共有するために、事故内容・対策を登録すると全従業員にメールで通知されるシステムを導入。安全意識の向上と再発防止につなげています。

ワークライフバランス

リバーグループでは、すべての従業員がさまざまなライフイベントを迎えても、安心してキャリアを継続できるよう、多様な制度を用意しております。

●ハラスメント禁止規定　●積み立て有給休暇制度
●地域限定総合職制度　●育児時短勤務制度　　など

地域とともに

リバーだからできる地域貢献を

特別支援学校で職業教育指導

栃木県で事業を展開するリバー（株）那須事業所は、同県の特別支援学校の実習授業に従業員を派遣。卒業後の職業的自立を応援しています。

障害者雇用優良事業所に

リバーグループでは複数の事業所で障害者雇用に取り組み、2つの事業所が障害者雇用優良事業所として表彰されました。

シルバー人材の活用

リバーグループでは、各社で熟練した技術を有する従業員の定年再雇用や、シルバー人材センターからの派遣を活用するなど、元気な高齢者を積極的に採用しています。

柏市消防局の交通救助事案対応研修に使用済自動車を提供

リバー（株）ELV柏事業所では、柏市消防局の要請を受けて、実車を使用した救出訓練に協力しています。

ちばSDGsパートナー登録

千葉県内に事業所を置く企業として環境・社会・経済の3つの側面において目標を設定し、取り組みを推進しています。

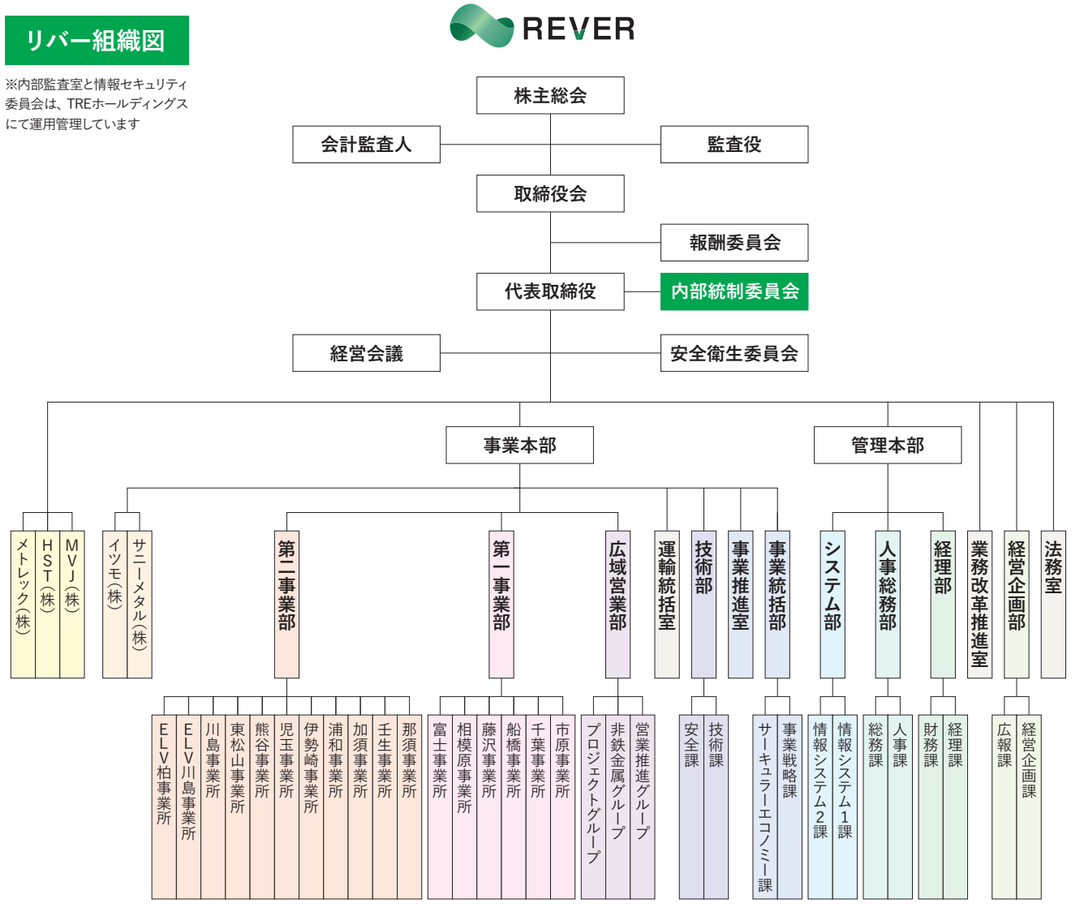
チーバくん
ちばSDGsパートナー326号

持続性を支える体制づくり

リバーグループは、お客様をはじめ、取引先、地域社会、従業員等の各ステークホルダーからの
信頼確保並びに企業価値の持続的な向上のため、経営の健全性、透明性および効率性に加え、
企業活動における企業倫理と法令遵守に基づく行動を常に意識し、コーポレートガバナンスの強化充実に努めています。

リバー組織図

※内部監査室と情報セキュリティ委員会は、TREホールディングスにて運用管理しています



【内部統制の実効性を高める委員会】

内部統制委員会

グループの内部統制の構築を目的として各委員会を統括し、コーポレートガバナンスに関する重要事項について報告、協議、方針決定を行います。決定事項は代表取締役を通じて、リバーグループ全組織に通達されます。

コンプライアンス委員会

■内部監査室と連携してリスク情報を収集し、不祥事等の未然防止・再発防止に向けたコンプライアンス教育プログラムの策定を行います。
■事案発生時には、対応・改善策のとりまとめ、内部統制委員会への報告、従業員への啓発活動を行います。

リスク委員会

■グループ内の事業活動におけるリスクを洗い出し、PDCAサイクルを通じて必要なリスク対策を検討します。

J-SOX委員会

■「財務報告に係る内部統制報告制度（J-SOX）」に対応した内部統制構築を目的として、業務プロセス改善の検討、ルール文書化の指揮、現場への業務変更の伝達と運用管理などを行います。

情報セキュリティ委員会

■情報セキュリティポリシーのPDCAを行います。
■情報セキュリティ上の課題報告と対策案の検討、従業員への周知・浸透、IT統制への対応策の検討などを行います。

未来にわたり継続する組織へ

リバーグループは、経営トップの強い意志のもと、グループ全体が未来にわたり継続する組織になるよう、
コンプライアンスを確実なものとするためのさまざまな取り組みを行っています。

方針・行動規範の制定

リバーグループでは、全従業員の判断や行動の原点となる「リバーグループ企業理念」のほかに、「コンプライアンス方針」「コンプライアンス行動規範」を全社共通で定めています。
リバーグループがお客様に選ばれる総合リサイクル企業になるために、これらを守り続けることが重要であると考えています。
コンプライアンス方針には、収益性よりコンプライアンスを重視する企業姿勢を明示しています。

コンプライアンス方針

当グループは、コンプライアンスを経営上の最重要課題のひとつと位置付け、経営理念の実現に向け、お客様、従業員、取引先、地域社会、株主などの全ての関係者から信頼される企業グループを目指します。

1 コンプライアンス優先と誠実性
利益とコンプライアンスが相反する場合は、迷わずコンプライアンスを優先します。
また社会の一員であることを自覚し、社会から信頼される誠実な企業をめざします。

2 法令遵守
法令およびルールを遵守し、社会規範に基づき行動し、公正で透明性の高い企業活動を行います。

3 人権の尊重
全ての人々の人権を尊重し、快適で安全な職場環境の維持に努めます。

4 反社会的勢力との関係の遮断
社会の秩序と安全に脅威を与える反社会的勢力には、毅然とした姿勢で臨み、一切関係を持ちません。

5 コンプライアンス教育
役員および従業員全員に対してコンプライアンスに関する教育を定期的に行い、その浸透を図り、質の高い企業活動を実践します。

コンプライアンス推進体制

リバーグループは、「内部統制委員会」を四半期ごとに開催しています。この下部組織である「コンプライアンス委員会」は、❶ リバーグループにおける法令遵守体制の確立 ❷ 事案発生時の対応策・改善策の検討・取り纏め ❸ 不祥事などの未然防止・再発防止策の検討・実施 ❹ 法令遵守に関する教育プログラムの策定・実施を行っています。

内部統制委員会
↓
コンプライアンス委員会
↓
グループ会社　コンプライアンス担当
↓
従業員

教育の実施

遵法教育
廃掃法など業務遂行に必要な法知識の習得と、遵法意識の向上を目的に、各グループ会社の実務担当者を対象にした教育プログラムを実施します。

コンプライアンス教育
反社会的な行動を排し、高いモラルを持って行動するための管理職研修および、「ハラスメント」「情報セキュリティ」などのテーマごとに従業員向けe-ラーニングによる研修を実施します。

法令遵守の仕組み

取引先管理システム
グループ各社・各拠点で個別管理している取引先情報（客先・仕入先・納入先・運送店・廃棄運送店）をグループで一元管理。反社会的勢力や与信限度額のチェックを行い、各種管理資料作成のマスタデータとして共有しています。

マニフェスト管理システム
産業廃棄物処理委託契約書と管理伝票「マニフェスト」を一元管理し、現場における適正処理を支援します。

情報セキュリティ
「情報セキュリティ管理規程」を制定し、不正利用の防止、情報漏えいの防止等の対策を実施。従業員に対する指導・周知・対策実施の徹底を図ります。

内部監査室
企業の業務効率化や不正の未然防止を目的として、グループ各社の業務運営に対する監査を実施。代表取締役社長直轄の組織として他の業務執行ラインから分離され、独立かつ客観的な立場から、実効性を確かめるチェック機能を果たします。

法務室
廃掃法に関するコンプライアンス意識の向上を重要事項と位置付け、許認可の維持管理および廃棄物業務の支援に関する専門組織を設置し、各事業所の遵法性を担保しています。また、処理委託先の現地確認を実施し、遵法状況のチェックを行っています。

※内部監査室は、TREホールディングスにて運用管理しています。

内部通報窓口の設置

事業活動に伴うリスクの早期発見と、重大な問題を未然に防止するための制度。メールや電話、面談などにより、社外窓口（顧問弁護士）に従業員が通報でき、受け付けた事案は経営トップに報告されるとともに、事実確認の調査を行い、適切な対応をします。

通報者
↓ 通報
内部通報窓口
社外窓口：顧問弁護士
↓ 一次報告
経営トップ

REVERの組織図…REVER GROUP DATA

持続可能な社会に貢献する、リバーグループ各社の強みと技術力

TREホールディングス株式会社

リバー（株）及び（株）タケエイの共同持株会社として設立。
傘下子会社及びグループの経営管理、並びにこれに付帯又は関連する業務を行います。

設　立　2021 年 10 月
資本金　100 億円
所在地　〒105-0023 東京都港区芝浦 1-1-1 ブルーフロント芝浦 タワーS 26階
TEL. 03-6327-2620（代）　FAX. 03-3277-3277

リバー株式会社

それぞれの事業所の特性を活かし、鉄・非鉄金属から自動車や廃プラスチック、家電など、多彩な品目を適正にリサイクル処理することが可能。
創業 120 年以上の歴史と実績をもとに、関東を中心に事業を展開しています。

設　立　1935 年 2 月（創業 1904 年 2 月）
資本金　2 億円
所在地　［本社］〒105-0023 東京都港区芝浦 1-1-1 ブルーフロント芝浦 タワーS 26階
ＴＥＬ　03-6365-1200（代）
ＦＡＸ　03-6365-2507

メジャーヴィーナス・ジャパン株式会社

廃棄物の処理、有価物のリサイクルだけでなく、廃棄物マネジメントの支援等、排出事業者の皆様へトータルソリューションを提供しています。

設　立　2015 年 12 月
資本金　1 億円
所在地　［本社］〒136-0082
東京都江東区新木場 4-2-21
TEL. 03-5569-1956
FAX. 03-5569-1797

＊メジャーヴィーナス・ジャパン株式会社は、リバーホールディングス株式会社（現リバー株式会社）と産業廃棄物処理業の大栄環境株式会社が締結した包括業務提携に基づき、共同出資会社として設立しました。

HIDAKA SUZUTOKU（Thailand）Co., Ltd.

グループ初の海外拠点として、日本品質のリサイクルサービスを提供。主に日系企業の生産拠点から出る工場発生くずを扱います。

設　立　2014 年 7 月
資本金　3 億バーツ
所在地　チョンブリ県シラチャー郡ノンカム町
（バンコク国際空港より 85km）
TEL. +66-38-110-565
FAX. +66-38-110-564

＊HIDAKA SUZUTOKU(Thailand) Co., Ltd. は、リバーホールディングス株式会社（現リバー株式会社）と HIDAKA YOOKOO ENTERPRISES Co., Ltd. が、アセアン地域における共同事業のために設立した合弁会社です。

サニーメタル株式会社

金属を中心としたリサイクル・廃棄物処理、家電リサイクルも実施しており、大型シュレッダーを持つ事業所です。

設　立　1986 年 6 月
資本金　1億円
所在地　〒554-0052
大阪府大阪市此花区常吉 1-1-13
TEL. 06-6461-2818
FAX. 06-6461-2513

イツモ株式会社

資源や廃棄物などの運送業。約70台の車両により、企業からの廃棄物引き取り、拠点間の輸送など、資源や廃棄物の収集運搬を担っています。

設　立　1961 年 5 月
資本金　5,000 万円
所在地　〒263-0004
千葉県千葉市稲毛区六方町 210
TEL. 043-423-3415
FAX. 043-420-0005

メトレック株式会社

企業が抱える廃棄物管理や資源循環の課題に対し、ワンストップでの解決策を提供。設備機器・構造物撤去、廃棄物処理、再資源化まで、一貫したサービスを展開します。

設　立　2024 年 8 月
資本金　3 億円
所在地　［本社］〒105-0023
東京都港区芝浦 1-1-1
ブルーフロント芝浦 タワーS 26階
TEL. 03-6361-6848
FAX. 03-6361-6849

＊メトレック株式会社は、当社とタケエイ、およびみずほリース 100%出資子会社であるエムエル商事が、施設等の統廃合時に発生する廃棄物の再資源化や環境対策など、企業の皆様が抱える課題をワンストップで解決することを目的に設立した合弁会社です。

REVERの歩み…HISTORY OF REVER

1904［明治37年］
創業者 鈴木徳五郎が、東京・浅草で、屑物一般の売買を行う「鈴木徳五郎商店」を創業

1935［昭和10年］
「株式会社鈴木徳五郎商店」として法人化

1972［昭和47年］
「株式会社鈴徳」に社名変更。東京・両国に本社を構える

2001［平成13年］
「メタルリサイクル株式会社」をグループ会社化

2003［平成15年］
「中田屋株式会社」をグループ会社化。中田屋株式会社の子会社である「サニーメタル株式会社」「フェニックスメタル株式会社」「NNY株式会社」「イツモ株式会社」も傘下に

2006［平成18年］
紙から基板までを扱う「株式会社新生」をグループ会社化

2007［平成19年］
「スズトクホールディングス株式会社」設立。本社を東京・大手町に移転

2014［平成26年］
グループ初の海外拠点、合弁会社「HIDAKA SUZUTOKU (Thailand) Co., Ltd.」を設立

2015［平成27年］
大栄環境ホールディングス株式会社と包括業務提携および、共同出資会社メジャーヴィーナス・ジャパン株式会社を設立

2017［平成29年］
スズトクホールディングス株式会社から「リバーホールディングス株式会社」に社名変更

2019［令和元年］
ベステラ株式会社および、株式会社イボキンとの業務提携契約を締結

2020［令和2年］
東京証券取引所第二部へ上場

2021［令和3年］
株式会社鈴徳から「リバー株式会社」に社名変更
リバー株式会社が「メタルリサイクル株式会社」「株式会社新生」を吸収合併
共同持株会社（TREホールディングス株式会社）への株式移転に伴いリバーホールディングス株式会社の上場廃止
株式会社タケエイとの共同持株会社「TREホールディングス株式会社」を設立、東京証券取引所市場第一部に上場

2022［令和4年］
TREホールディングス株式会社が、東京証券取引所の市場区分再編に伴い、新市場区分「プライム市場」へ移行
リバー株式会社が「中田屋株式会社」「フェニックスメタル株式会社」「NNY株式会社」を吸収合併

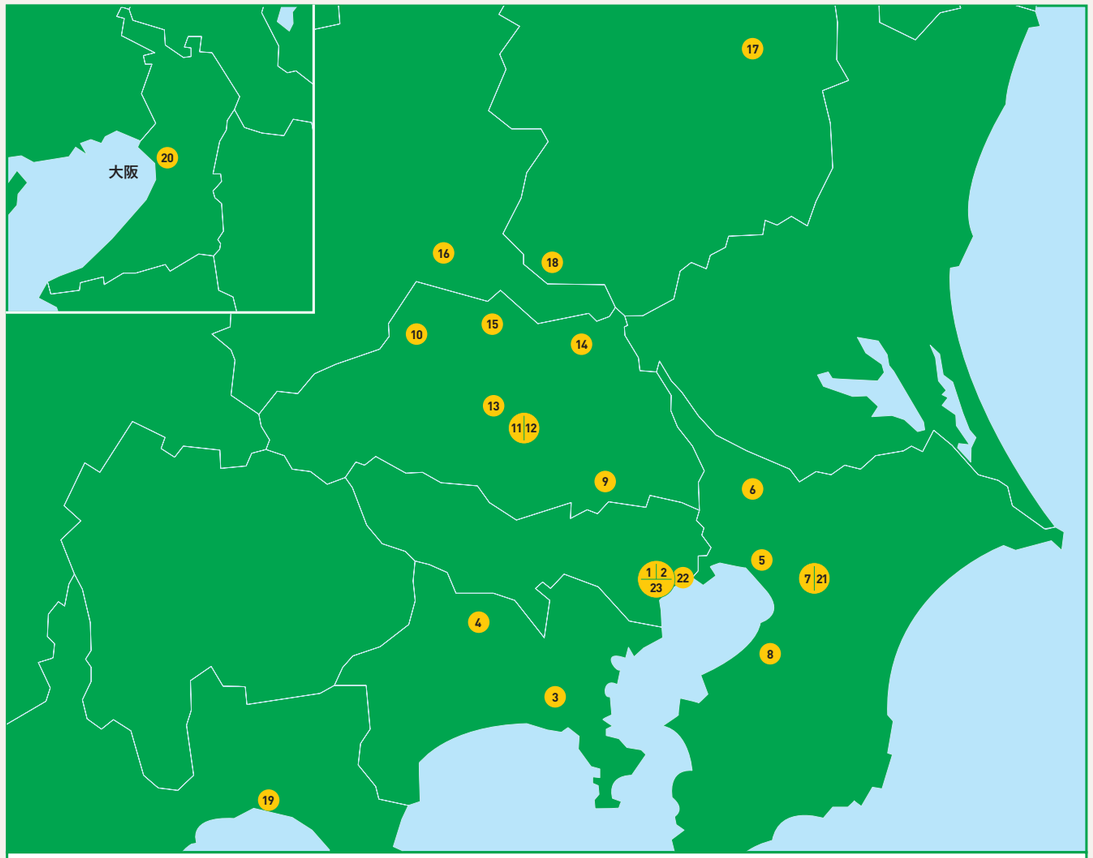
2023［令和5年］
リバー株式会社がリバーホールディングス株式会社を吸収合併

2024［令和6年］
株式会社タケエイ、エムエル商事株式会社と合弁会社メトレック株式会社を設立

2026［令和8年］
本社を東京都港区に移転

REVERの事業所一覧…OFFICE LIST

関東を中心とした18の事業拠点をネットワークでつなぎ、高品質なきめ細かいサービスを提供します



❶ リバー株式会社［本社］

〒105-0023 東京都港区芝浦1-1-1 ブルーフロント芝浦 タワーS 26階
TEL. 03-6365-1200（代） FAX. 03-6365-2507
［両国分室］〒130-0021 東京都墨田区緑1-4-19
許認可 収集

❷ リバー株式会社［広域営業部］

営業推進グループ
TEL：03-6365-1201 FAX：03-6365-2501

営業推進グループ 小型家電部門
TEL：03-6365-1202 FAX：03-6365-2502

非鉄金属グループ
TEL：03-6365-1211 FAX：03-6365-2691

プロジェクトグループ
TEL：03-6365-1200 FAX：03-6365-2507

❸ リバー 藤沢事業所

許認可 中間
主要設備

〒252-0822 神奈川県藤沢市葛原1786
TEL. 0466-48-7781 FAX. 0466-48-7827

❹ リバー 相模原事業所

許認可 中間
主要設備 油圧シャー

〒252-0131 神奈川県相模原市緑区西橋本3-10-14
TEL. 042-773-2001 FAX. 042-773-2009

❺ リバー 船橋事業所

許認可 中間
主要設備 油圧シャー

〒273-0015 千葉県船橋市日の出1-21-1
TEL. 047-431-3245 FAX. 047-434-3715

❻ リバー ELV柏事業所

許認可 中間
主要設備 プレス

〒277-0924 千葉県柏市風早1-9-3
TEL. 04-7192-2111 FAX. 04-7192-0778

❼ リバー 千葉事業所

許認可 中間
主要設備 油圧シャー

〒263-0004 千葉県千葉市稲毛区六方町210-11
TEL. 043-423-1120 FAX. 043-423-1350

油圧シャー
鉄筋・鉄骨・銅管など、厚みと長さがある鉄スクラップを一定の長さに切り揃えます。

シュレッダー
各種産業廃棄物を細かく破砕します。金属以外が含まれていても、破砕後に風力や磁力で選別、あらゆる品目のリサイクルで活躍する設備です。

プレス
小さなものから、大きな金属廃棄物まで、圧縮して成型・減容する設備。強い力で圧縮して箱形に成型された廃棄物が排出されます。

❽ リバー 市原事業所

許認可 中間
主要設備 油圧シャー

〒290-0067 千葉県市原市八幡海岸通7-3
TEL. 0436-43-1261 FAX. 0436-43-7282

❾ リバー 浦和事業所

許認可 中間
主要設備 一般

〒336-0022 埼玉県さいたま市南区白幡6-11-2
TEL. 048-861-8680 FAX. 048-864-7832

❿ リバー 児玉事業所

許認可 中間
主要設備 シュレッダー

〒367-0244 埼玉県児玉郡神川町八日市647
TEL. 0495-77-3151 FAX. 0495-77-3847

⓫ リバー 川島事業所

許認可 中間
主要設備 油圧シャー シュレッダー

〒350-0166 埼玉県比企郡川島町戸守440
TEL. 049-297-2111 FAX. 049-297-3202

⓬ リバー ELV川島事業所

許認可 中間
主要設備 油圧シャー シュレッダー

〒350-0166 埼玉県比企郡川島町戸守440
TEL. 049-297-2116 FAX. 049-297-5043

⓭ リバー 東松山事業所

許認可 中間
主要設備 シュレッダー

〒355-0812 埼玉県比企郡滑川町都25-21
TEL. 0493-57-2170 FAX. 0493-57-2247

⓮ リバー 加須事業所

許認可 中間
主要設備 油圧シャー シュレッダー

〒347-0042 埼玉県加須市志多見2236
TEL. 0480-61-2703 FAX. 0480-62-3210

⓯ リバー 熊谷事業所

主要設備 一般

〒360-0202 埼玉県熊谷市妻沼東5-68-1
TEL. 048-567-0555 FAX. 048-567-0556

⓰ リバー 伊勢崎事業所

許認可 中間
主要設備 油圧シャー シュレッダー プレス

〒372-0801 群馬県伊勢崎市宮子町1211-9
TEL. 0270-23-8141 FAX. 0270-40-7715

⓱ リバー 那須事業所

許認可 中間
主要設備 油圧シャー シュレッダー

〒324-0036 栃木県大田原市下石上1505-11
TEL. 0287-29-2777 FAX. 0287-29-2779

⓲ リバー 壬生事業所

許認可 中間

〒321-0215 栃木県下都賀郡壬生町大字壬生乙3545-1
TEL.0282-51-1080 FAX.0282-82-2288

⓳ リバー 富士事業所

許認可 中間
主要設備 油圧シャー シュレッダー

〒417-0001 静岡県富士市今泉795-1
TEL. 0545-52-2558 FAX. 0545-52-7971

⓴ サニーメタル株式会社［大阪事業所］

許認可 収集 中間
主要設備 シュレッダー

〒554-0052 大阪府大阪市此花区常吉1-1-13
TEL. 06-6461-2818 FAX. 06-6461-2513

㉑ イツモ株式会社［本社］

許認可 収集 一般

〒263-0004 千葉県千葉市稲毛区六方町210
TEL. 043-423-3415 FAX. 043-420-0005

㉒ メジャーヴィーナス・ジャパン株式会社［東京エコファクトリー］

許認可 収集 中間
主要設備 油圧シャー プレス

〒136-0082 東京都江東区新木場4-2-21
TEL. 03-5569-1956 FAX. 03-5569-1797

㉓ メトレック株式会社

〒105-0023 東京都港区芝浦1-1-1 ブルーフロント芝浦 タワーS 26階
TEL. 03-6361-6848 FAX. 03-6361-6849

収集運搬業
産業廃棄物を収集・運搬するための許可を取得している事業会社

中間処理業
産業廃棄物の破砕・切断・圧縮処理などを行うための許可を取得している拠点

一般貨物運送事業
需要に応じ、有償で自動車を用いて貨物を運送するための許可を取得している事業会社

油圧シャーを持つ拠点

シュレッダーを持つ拠点

プレスを持つ拠点